

科目名	デザイン論 4							年度	2025
英語科目名	Design theory 4							学期	後期
学科・学年	デザイン科 プロダクトデザイン専攻 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	藤田祐子、大山敏弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダクトデザイナー、版画家		
【科目の目的】									
①デザインに関する法規や知的財産に関する知識とデザイナーに必要な批評眼を養う。 ②メディアリテラシーについての理解を深め、情報収集および情報発信について実践する。 ③デザイン業界における業界理解と自己アピールについて理解、実践する。									
【科目の概要】									
授業は、前半では「知的財産権」に関する授業を行う。後半では「メディアリテラシー」についての授業を行う。授業では、教員の講義を聴講すると共に、テーマに沿った内容についてディスカッションも行う。									
【到達目標】									
①メディアの役割について、聴講および数人によるディスカッションを経て、自分自身の考えを言語化して、口頭発表できる。 ②著作権および産業財産権における意匠権、商標権及び法律で定められている内容について、理解し、必要な事柄の調べ方の技術を身につけて、自身の創作・デザイン活動に役立てることができる。									
【授業の注意点】									
必要な資料は各回用意するが、聴講内容やディスカッションでの内容をしっかりと記録すること。最終授業終了後にレポートを作成し、提出する。また、試験を行う。この試験で60点未満の場合は再試験となる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	問題や与えられた条件をよく理解し、独自の調査と分析的確にできる	問題や与えられた条件をよく理解し、調査と分析ができる	問題や与えられた条件を理解し、調査と分析ができる	問題や与えられた条件は理解しているが、調査と分析が出来ない	問題や与えられた条件の理解および調査と分析が出来ない				
到達目標 B	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない				
到達目標 C	主体的に授業参加し、自分の考えを言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の考えを言語化して説明することができる	自分の考えを言語化して説明することができる	自分の考えを言語化して説明することができない時がある	自分の考えを言語化して説明することができない				
【教科書】									
課題ごとに資料を用意する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

